

トマト黄化葉巻病情報第1号

平成23年9月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 コナジラミ類の発生状況

トマト黄化葉巻病の病原であるトマト黄化葉巻ウイルス (TYLCV) は、タバココナジラミバイオタイプB及びQによって媒介されます。タバココナジラミは県内各地の露地野菜などで発生しています。屋外での黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数は、弥富市では過去6年の平均より少なめですが、田原市では過去4年の平均よりやや多く推移しています (図1)。

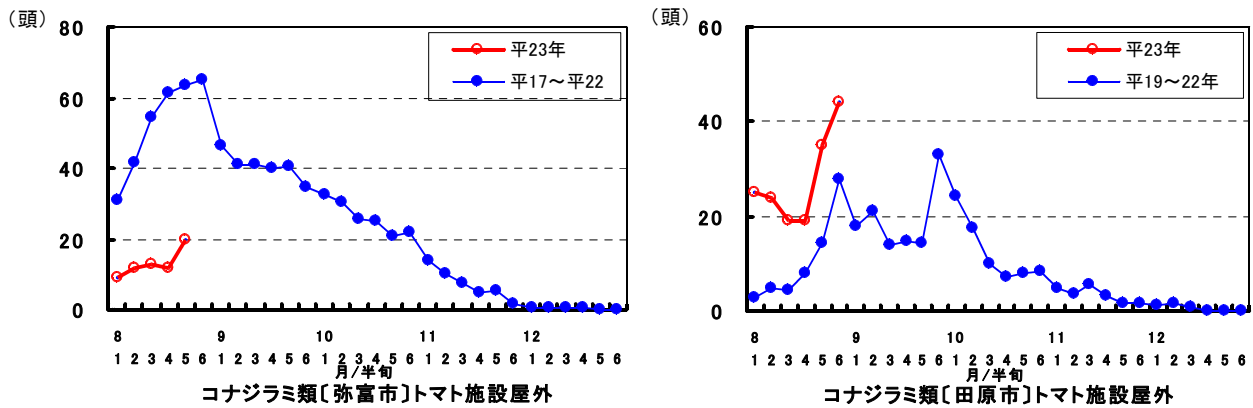


図1 黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数

2 防除対策 (栽培初期の防除が重要です)

- (1) 施設の開口部に防虫ネット (目合0.4mm以下) を張りましょう。
- (2) 育苗時や定植時には粒剤を施用しましょう (下表)。訪花昆虫などを利用する場合は、それらに対する影響や残効期間に注意して防除薬剤を選定してください。
- (3) 感染の疑いのある苗は定植せず、土中に埋めるかビニル袋に入れて枯れるまで密閉しましょう。
- (4) ほ場での観察をしっかり行い、タバココナジラミを発見したら防除を行いましょう (下表)。
- (5) 施設内の発病株は見つけ次第抜き取り、(3)と同様に適正に処分し、残さをほ場周辺に放置しないようにしましょう。
- (6) 施設の周辺の雑草を抜き取り、タバココナジラミの増殖源を減らしましょう。



図2 トマト黄化葉巻病発病株



図3 タバココナジラミ (左: 幼虫、右: 成虫)

表 コナジラミ類に対する主な防除薬剤

作物名	薬剤名
トマト、ミニトマト	ダントツ粒剤
トマト、ミニトマト	スタークル/アルバリン粒剤
トマト、ミニトマト	ダントツ水溶剤
トマト、ミニトマト	ベストガード水溶剤
トマト、ミニトマト	モスピラン水溶剤
トマト、ミニトマト	アドマイヤー顆粒水和剤
トマト、ミニトマト	クリアザールフロアブル
トマト	アプロードエースフロアブル